

レーダー級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法

規

〔1〕 次の記述は、電波法に規定する「無線局」の定義である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局」とは、無線設備及び□の総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものを含まない。

1. 無線設備の操作を行う者
2. 無線局を運用する者
3. 無線通信を行う者
4. 無線設備の所有者

〔2〕 再免許を受けた無線航行移動局の免許の有効期間は、次のどれか。

1. 無期限
2. 2年
3. 3年
4. 5年

〔3〕 船舶に設置する無線航行のためのレーダー（総務大臣が告示するものを除く。）は、電源電圧が定格電圧の（±）何パーセント以内において変動した場合においても安定に動作するものでなければならないか、無線設備規則に定める値を次のうちから選べ。

1. 2パーセント以内
2. 5パーセント以内
3. 10パーセント以内
4. 20パーセント以内

〔4〕 無線従事者が免許証を返納しなければならないのは、どの場合か。

1. 無線設備の操作を5年以上行わなかったとき。
2. 無線通信の業務に従事することを停止されたとき。
3. 無線従事者の免許の取消しを受けたとき。
4. 無線従事者の免許を受けてから5年を経過したとき。

〔5〕 無線従事者は、無線通信の業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 携帯する。
2. 通信室内に保管する。
3. 無線局に備え付ける。
4. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。

〔6〕 次の記述は、レーダー級海上特殊無線技士の無線設備の操作に関する電波法施行令の規定である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「海岸局、船舶局及び船舶のための無線航行局のレーダーの外部の転換装置で□に影響を及ぼさないものの技術操作」

1. 機能
2. 電波の質
3. 機器の性能
4. 空中線電力

レーダー級海上特殊無線技士試験問題

法

規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護に関する電波法の規定である。□□ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、□□ に対して行われる無線通信を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。」

1. 通信の相手方
2. 特定の相手方
3. すべての相手方
4. すべての無線局

〔8〕 無線局を運用する場合において、電波法の規定により、空中線電力は、遭難通信を行う場合を除き、次のどれによらなければならないか。

1. 免許状に記載されたものの範囲内で通信を行うため最大のもの
2. 免許状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最小のもの
3. 通信の相手方となる無線局が要求するもの
4. 無線局免許申請書に記載したもの

〔9〕 無線従事者がその免許を取り消されることがある場合は、次のどれか。

1. 免許証を失ったとき。
2. 日本の国籍を有しない者となったとき。
3. 電波法に違反したとき。
4. 引き続き6箇月以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔10〕 臨時検査（電波法第73条第4項の検査）が行われる場合は、次のどれか。

1. 無線局の再免許が与えられたとき。
2. 無線従事者選解任届を提出したとき。
3. 無線設備の変更の工事を行ったとき。
4. 臨時に電波の発射の停止を命じられたとき。

〔11〕 免許人は、免許状に記載された事項に変更を生じたときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 免許状の訂正を受ける。
2. 再免許を申請する。
3. その旨を報告する。
4. 直ちに届け出る。

〔12〕 再免許を受けた無線局は、従前の無線局の無線検査簿をどのように取り扱わなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 旧免許状とともに返納する。
2. 新たなものに取り替える。
3. そのまま継続して使用する。
4. 1年間保存する。